

顔と声による

音声知覚の生涯発達と 母語の影響

人文社会科学系国際共同研究拠点では、拠点メンバーによる研究内容を広く知っていただくことを目指して、この度研究会を開催する運びとなりました。

第二回は、「認知心理学」や「脳と心の可塑性認知機能の生涯発達」について研究されている文学部の積山薫教授より、顔と声による音声知覚において視覚情報（顔）と聴覚情報（声）の重みづけが年齢とともにどのように変化するのかについて発表していただきます。

国際的にも注目されている大変興味深い学際的なテーマの研究会です。

貴重な機会ですので、幅広い領域の研究者、教員、学生等の皆様の参加をお待ちしております。

平成**27**年**5**月**28**日**(木)** 13:00~14:20

文法学部棟2階 共用会議室

※事前申込は不要です。当日、直接会場にお越し下さい。

積山 薫（文学部 教授）